

宇都宮電設会（八城光男会長）は12日、「うつのみやイルミネーション2018」のコードライト設置をボランティアで実施。会員企業37社の社員ら約40人が参加し、1級河川釜川に多数のLED電球を設置した。イルミネーションは15日から来年1月15日まで点灯する。

会員は「宇都宮電設会」のロゴが入った蛍光ベストを身に付け、脚立や高所作業車を使って樹木やモニュメントにLED電球を設置。暖冬で枝葉の多い樹木にも、プロの技を駆使して電飾を取り付けた。

宇都宮電設会は2004年から、毎年イルミネーシ

宇都宮電設会が釜川沿いに電飾設置

うつのみやイルミネーションに協力

ョンの設置・撤去活動をボランティアで続けている。

設置区間はオリオン通り付近からパンパ通りの東側まで。今年は昨年度よりもLED電球を5000球以上増設。近隣の商店街と連

携して市内をより明るく、鮮やかに彩るイルミネーションを設置した。

ボシヨレーヌーボー解禁日に併せ、11月15日午後5時からオリオンスクエアで点灯式が行われる。



電飾を取り付ける作業の様子

